

2017年度（平成29年）三井V-Net 東大国際センター一部会活動報告

2017年度（2017年4月～2018年3月）の東大国際センター一部会活動は、会員皆様をはじめ大学関係者のご協力、ご支援のもとに活動を無事に終えることができました。当年度の部会新規登録会員(休会等からの復帰2名を含む)は7名、留学生と新規または追加交流された会員は13名。

①部会会員数(2018年3月末現在)

活動会員 44名（登録会員：53名 休部会員：9名）

活動会員男女内訳 男性：37名 女性：7名

②最近の新規会員 FACE 登録者数推移

- ・2014年度：4名
- ・2015年度：4名
- ・2016年度：10名
- ・2017年度：7名（うち2名は休会等より復帰）

<活動の概要は以下のとおり>

活動は、会員と留学生の対面交流を基本としていますが、各会員と各留学生との交流を目的とした交流会、伝統芸術・文化体験等のイベントも大学と協働で実施しました。

1. 留学生参加イベント

①羽田クロノゲート見学

- ・開催日：平成29年6月10日
- ・参加者：留学生 19名、東大国際センター一部会会員 8名、三井V-Net事務局 1名

今回のイベントは、ヤマトグループの物流ターミナルの「羽田クロノゲート」見学。

6月10日午前9時15分、京急穴守稲荷駅に集合し、

徒歩5分の現地に到着し、最先端技術による巨大な物流ターミナルの見学ツアーが始まりました。ツアーの解説は日本語・英語の二者択一とのことで、希望者の多い英語で実施。映像、展示で同グループの活動概要を知り、実際の荷物が目の前を流れていく様子を空中回廊から



から見学した。多くの荷物が高速で仕分けされていく様子は圧巻であった。この施設には地域の人々との共生を目指した様々な機能をもつ「地域貢献エリア」も併設されていることにも留学生の皆さんは感心していた。

とても有意義な見学ツアーでした。

②料理教室

- ・開催日：6月17日、25日
- ・参加者：6月17日 留学生 11名、会員 7名

6月25日 留学生 5名、会員8名、事務局 1名

東大国際センターで留学生の”食生活の貧しさ”を聞き、三井V-Netで何かお手伝いをと思い料理教室を企画。

去年は女性たちで行いましたが、今年は料理好きな男性たちの申し出があり、女性はお手伝い役。留学生の人数も絞り、丁寧に指導した。

料理のメニューは鮭ムニエル、卵焼き、味噌汁、



インゲンの胡麻和え。そして25日は肉ジャガも追加。

忙しい学生たちの食生活は貧しいようで、残ったご飯をおにぎりにして持ち帰った。研究の合い間に夜食として食べるとのこと。

料理作りで集まり、美味しい食事ができあがり留学生、会員の連帯感も醸成された。

③留学生との交流会

- ・開催日：10月13日
- ・会場：東京大学 山上会館 地下1階 001会議室
- ・参加者：留学生21名、大学関係者 4名、会員 14名、事務局 3名

東大国際センター部会での活動は、FACEでの日本語による留学生との一対一交流が基本ですが、留学生同志が交流する機会を設け、会員同士も交流し情報交換を図るべく大学側の協力を頂き春と秋にイベントを続けている。

今秋の交流会は例年通り本郷キャンパス内の山上会館で開催。

この会館は昭和61年に東大創立100周年の記念事業として建てられた重厚な施設で、交流会は今回で3回目となる。会場は40人収容でお互いの声かけにはちょうど良い広さ。料理はビュッフェ方式で学生の評判も上々であった。

井澤会員が主催者挨拶、続いて国際センター相談室の大西准教授による来賓挨拶、八木理事長による乾杯のあとは、しばし食事、ドリンクしながら歓談。



留学生は中国8名、タイ5名、イラン・台湾2名、韓国、マレーシア、ペルー、イタリア、フランス、ドイツなど多彩な顔ぶれであった。後半はお楽しみのおくじ引きを実施し出席会員等が持ち寄ったプレゼントを留学生間でくじ引きの形で賞品をゲットするゲーム。賞品は和食器、

木版画、和菓子、修学用品などいろいろなものが用意された。

司会進行はタイのボスさんとゴルフさんの二人。二人とも昨年続きで軽妙な語り口で座を盛り上げもてくれた。賞品を受け取ったあと、自己紹介をしてもらった。日本語を上手に話す学生多く、来日間もない学生は英語と日本語で一生懸命話している姿も印象に残った。

以上